

ZEPHYROS

ゼフュロス No.55

The National Museum of Western Art, Tokyo 国立西洋美術館ニュース

2013年5月20日発行

ISSN1342-8071



特集 国立西洋美術館の
所蔵作品について

2012年度収蔵作品について



ポール・セリュジエ《森の中の4人のブルターニュの少女》
1892年、油彩・カンヴァス

国立西洋美術館では2012年度、油彩画2点、版画15点を新規購入した他、版画6点、工芸作品805点の寄贈を受け入れました。油彩画はいずれも19世紀後半のフランスの画家による作品で、ポール・セザンヌ作《ポントワーズの橋と堰》と、ポール・セリュジエ作《森の中の4人のブルターニュの少女》です。《ポントワーズの橋と堰》は、セザンヌが印象派の画家ピサロとともに滞在し、しばしばカンヴァスを並べ同じモチーフを描いたポントワーズの風景画です。本作にも、これより約8年前にほぼ同じ地点からピサロが描いた関連作品がありますが、比較すると印象派に導かれ明るい色彩を画面にとりいれたこの時期のセザンヌの特徴とともに、構図や筆触に印象派とは異なる構築性が認められま

す。ナビ派の画家セリュジエはタヒチに向かう直前のゴーガンと親しく接し、その影響を強く受けました。《森の中の4人のブルターニュの少女》ではふたりの出会いの地ブルターニュの自然に囲まれる、現地の女性たちを描いています。深い緑や青で彩られた森に流れる赤い川や太い輪郭線、女性たちのポーズや配置など画面は装飾的に構成され、日本趣味も認められるなど、この時代のナビ派の特徴をよく示しています。

版画では、パルミジャニーノ、マルカントニオ・ライモンディ、ベランジュ、デューラー、クラナハなどの作品を取得しました。《キリスト埋葬》は16世紀イタリアの画家パルミジャニーノによる貴重な第1ヴァージョンで、エッチングとドライポイントが併用され、繊細で



パルミジャーニョ（本名フランチェスコ・マッツォーラ）
《キリスト埋葬》エッチング・ドライポイント

自由な線が構図に奥行き感をもたらししています。16世紀末から17世紀初頭のロレーヌ地方の版画家ペランジュの《女庭師》には、龍の装飾のついた瓶を頭上にのせ籠を手にした女性が優美な線で描かれます。

寄贈された工芸作品は、橋本貫志氏が収集した指輪を中心とした宝飾品です。コレクションには古代から現代、ヨーロッパだけではなくアメリカや東洋の作品も含まれており、当館においては初めてのまとまった宝飾品のコレクションとなりました。絵画や彫刻とは別の視点で、欧米の文化を物語る作品群です。

今年度は独立行政法人国立美術館に特別購入予算が向けられたこと、年度前半に円安であったこと、大きな寄贈の申し出があったことから、充実した作品の取得を行うこ



ジャック・ペランジュ《女庭師》
エッチング・エングレーヴィング・ドライポイント

とができました。しかし他方で美術館全体の予算は年々縮小の傾向にあり、作品の収集活動も年度ごとに不安定な状況が続いています。期間限定の企画展とともに、コレクションは美術館の活動の柱です。常設展の充実のため、これからも優品の継続的な取得に努めたいと考えています。

（国立西洋美術館主任研究員 大屋 美那）

表紙

ポール・セザンヌ《ポントワーズの橋と堰》
1881年、油彩・カンヴァス

常設展

一般 420 円（210 円）

大学生 130 円（70 円）

*小・中学生・高校生及び18歳未満、65歳以上、
心身に障害のある方及び付添者1名は無料
（入館の際に学生証または年齢の確認できるもの、
障害者手帳をご提示ください。）

*（ ）内は20名以上の団体料金

所蔵作品

カルロ・クリヴェッリ《聖アウグスティヌス》



カルロ・クリヴェッリ
《聖アウグスティヌス》
テンペラ、板 1487/88年頃？
140.7x39.5cm

カルロ・クリヴェッリはヴェネツィア出身ながら、故郷での事件を機にヴェネツィアを離れ、その後マルケで活躍した15世紀の画家です。本作品はその形状から多翼祭壇画の一部であったことは明らかながら、その聖人の名前、あるいは作者そのものに関する問題にいたるまで些か不明な点の多い作品でした。しかし近年、大阪大学の上原真衣氏が本作品を含む三連祭壇画の再構成について詳細な研究を発表し、それによりその出自がほぼ明らかとなりました。

上原氏の緻密な研究と文書の発見により、この板絵が1487年にマルケ地方のカステル・トロジノという小邑のサン・ロレンツォ聖堂のために制作された祭壇画の右翼であることが判明しました。その三連祭壇画は他に中央の《聖母子》、左翼に《洗礼者聖ヨハネ》、上部中央に《磔刑図》、上部右翼には聖堂を建立した修道会にちなんだ《聖ベネディクトゥス》、同左には聖堂が捧げられた《聖ラウレンティウス》が描かれていました。また、すでに状態の悪くなっていたサン・ロレンツォ聖堂の祭壇画は、1855年に聖堂改装に伴い売却申請がなされ、当時のイタリア商業省の認可を受けて売却され、その後本作品はイタリアからイギリスへとわたり、さらに松方の手に移り、戦前にはすでに日本国内に持込まれたのでした。本作品がカルロ・クリヴェッリ52歳頃の作として裏付けされたことは非常に喜ばしい限りです。

(愛知県立芸術大学准教授・

前国立西洋美術館主任研究員 高梨 光正)

活動紹介

所蔵作品データベースが目指すもの

国立西洋美術館の地下書庫に棚一面に箱型ファイルの並ぶ一角があります。所蔵品にまつわる資料を入れておくためのもので、例えば購入時に画商とやり取りされた手紙や、特別展に出品された際の展覧会カタログの写しなどが収納されています。作品ごとに分類・保管されていることから、この一群の資料は「作品ファイル」と呼びならわされてきました。

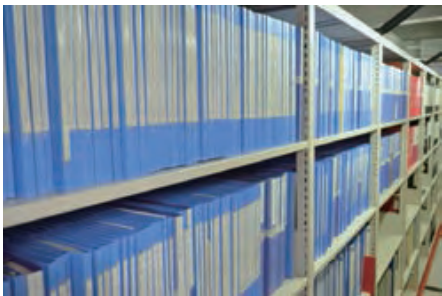
作品ファイルは、作品がどのような経緯で収蔵されるに至ったのか、これまでどのような文献に取り上げられ、どのようなことが指摘されてきたのかといった作品の歴史を辿る手がかりを与えてくれるものです。長い間代々の館員によって維持されてきましたが、近年、情報システムが整備されたことで、その成果の一部をインターネットで公開できるようになりました。

所蔵作品データベースの「来歴」「展覧会歴」「文献歴」欄がそれで、例えば1984年に寄贈されたマネ《ブラン氏の肖像》の来歴欄には、この作品が作家の歿後に下ガの手に渡り、その後デンマークの収集家を経て松方幸次郎により購入されたことが記されています。1953年からの30年間は東京・京橋のブリヂストン美術館に寄託されていましたが、展覧会歴欄にはその間、同館の特別展に2度出品されたことが記されています。こうした情報は全て、ここに述べているような紙媒体の資料に基づくもので、データベースの背後には情報資源の宝庫として作品ファイルが存在しているのです。

美術品を守り伝える施設として、美術館に

は作品が蓄積した過去を調査し、その成果を説明していく責務があります。所蔵作品データベースもまた、その役割の一端を担うことが求められているのです。

(国立西洋美術館主任研究員 川口 雅子)



書庫にある作品ファイル



所蔵作品データベースの作品詳細画面（部分）
<http://collection.nmwa.go.jp/P.1984-0002.html>

EVENT イベント

所蔵作品と美術館を楽しむトーク・プログラム

当館では、ボランティア・スタッフによる常設展の所蔵作品に関する美術トークと、ル・コルビュジエが設計した本館の建築ツアーを週末に行っています。

美術トークは、予約不要のプログラムです。担当となったスタッフが、テーマを決め、作品を選択し、創意工夫を凝らしてトークを組み立てています。美術史の専門家とは一味違った、ボランティア・スタッフならではの視点と親しみやすい雰囲気をお楽しみいただけます。「トークをする人が変わると、同じ作品でも視点や雰囲気が変わって面白い」との感想をいただき、最近ではリピーターも増えてきました。

建築ツアーは、当日先着15名限定で行っています。建物の空間や外観を体感しながらもスタッフの解説がよく聞こえるようにインカムを使用しています。無限成長美術館の特徴である、外観、19世紀ホール、2階展示室など、複数のポイントを紹介します。こちらも、新しい情報をプラスしながら、何度参加しても楽しめるように、スタッフは準備に時間をかけて取り組んでいます。

週末のひと時を、国立西洋美術館のプログラムに参加して楽しく過ごしてみませんか。皆様のご参加をお待ちしています。

● 美術トーク

日 時: **第1・3・5土曜日と毎週日曜日**
14:00~(約50分)

集合場所: 本館常設展示室 1 階 19 世紀ホール内

● 建築ツアー

日 時: **第2・4土曜日**
14:00~(約50分)

定 員: 先着 15 名 * 13:30 よりインフォメーションにて整理券を配布します。

集合場所: 本館 1 階 ロビー

* 本館展示室閉室時(7月9日~8月5日)の集合場所は、館内インフォメーションカウンターでお尋ねください。

* 美術トーク、建築ツアーは、都合により中止とさせていただく場合があります。

Museum shop ミュージアム ショップ

新商品 ● 近日発売予定

iPhone5用ケース

1,800円 (税込み)

素材：ポリカーボネート製

当館で人気の作品がiPhone5用のケースになりました。

ラインナップはモネ「睡蓮」ゴッホ「ばら」ロダン「考える人」の3種です。

作品の魅力を活かしたシンプルなデザインとなっており、iPhone5をお気に入りの作品でお楽しみいただけます。

※こちらのケースはiPhone5専用となります。その他の機種ではお使いいただけませんのでご注意ください。



Café カフェすいれん



すいれん おすすめメニュー

● **すずきのスパゲティ**
1,260円 (税込み)

初夏から旬を迎えるすずきを使って、店長自慢のすいれん風トマトスープで仕立てたスパゲティ。大葉とバジルが爽やかに香ります。

チケット売場、館内施設(常設ミュージアムショップ、カフェすいれん)でSuica、各種クレジットカードがご利用いただけます。(ただし、一部除外品がございます。)詳細については、当館HPをご覧ください。

展示カレンダー [企画展示/常設展示]

2013年5月～10月

休館日 土日・祝日

MAY	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
5	ラファエロ 3月2日(土)～6月2日(日)																														
	風景—国立西洋美術館素描コレクションより(新館2階 常設展示内) 3月2日(土)～6月2日(日)																														
JUN	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
6	ラファエロ 3月2日(土)～6月2日(日)																														
	風景—国立西洋美術館素描コレクションより(新館2階 常設展示内) 3月2日(土)～6月2日(日)																														
	全館休館 6月24日(月)～7月8日(月)																														
JUL	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
7	全館休館 6月24日(月)～7月8日(月)																														
	常設展一部(本館)閉室 7月9日(火)～8月5日(月)																														
AUG	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
8	常設展一部(本館)閉室 8月5日(月)まで																														
	ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・祝)																														
SEP	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
9	スティーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡 9月6日(金)～11月17日(日)																														
	ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・祝)																														
OCT	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
10	スティーナ礼拝堂500年祭記念 ミケランジェロ展—天才の軌跡 9月6日(金)～11月17日(日)																														
	ル・コルビュジエと20世紀美術(本館) 8月6日(火)～11月4日(月・祝)																														

●臨時休館・一部閉室のお知らせ

6月24日(月)～7月8日(月) 館内整備のため全館休館します。
7月9日(火)～8月5日(月) 展覧会準備のため常設展の一部(本館)を閉室します。
9月5日(木)は展覧会準備のため全館休館いたします。
10月1日(火)、2日(水)は展覧会準備のため常設展の一部(新館)を閉室します。

●常設展示

中世末期から18世紀末頃までのオールド・マスターの絵画、モネ、ルノワールなどのフランス近代絵画と20世紀初頭までの絵画を展示しています。

(展示作品については、館内インフォメーションでおたずねいただくか、当館ホームページをご覧ください。)

※展覧会名、会期、内容等は変更されることがあります。

※作品の保存・貸し出し等の状況により、掲載された作品をご覧いただけない場合がございます。

国立西洋美術館

- 所在地…〒110-0007 東京都台東区上野公園7-7
- 開館時間…午前9時30分～午後5時30分
毎週金曜日…午前9時30分～午後8時
※入館は閉館の30分前まで
- 休館日…月曜日(ただし、月曜日が祝日あるいは振替休日となる場合は翌火曜日)
※その他、臨時に休館することがあります。
- 常設展無料観覧日…毎月第2、第4土曜日、文化の日
- お問い合わせ…ハローダイヤル: 03-5777-8600
<http://www.nmwa.go.jp/>

※誌名について…「ZEPHYROS」(ゼフェロス)はギリシャ神話の神々のひとりで、西風を司る神様の名前です。西欧では暖かさや色ざまざまの花々を運ぶ春の風をさします。

ZEPHYROS

ZEPHYROS 第55号

編集・発行 国立西洋美術館/2013年5月20日(年4回発行)
協力 公益財団法人 西洋美術振興財団
印刷 (株)アイネット



国立西洋美術館
The National Museum of Western Art